

船舶インシデント調査報告書

平成29年9月21日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

インシデント種類	運航阻害
発生日時	平成29年5月5日 09時23分ごろ
発生場所	北海道小樽市祝津漁港北東方沖 日和山灯台から真方位035° 1,300m付近 (概位 北緯43° 14.9′ 東経141° 01.5′)
インシデントの概要	プレジャーボートMIYABIは、漂流中、主機が始動できなくなり、運航が阻害された。
インシデント調査の経過	平成29年5月10日、主管調査官（函館事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	プレジャーボート MIYABI、5トン未満（長さ5.31m） 200-28735 北海道、有限会社山本鉄筋興業
乗組員等に関する情報	船長、二級小型
負傷者	なし
損傷	なし
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 西、風力 2、視界 良好 海象：海上 平穏
インシデントの経過	本船は、船長が1人で乗り組み、同乗者3人を乗せて釣りの目的で漂流中、平成29年5月5日09時23分ごろ、主機が始動できなくなった。 本船は、船長が118番へ通報し、来援した巡視艇にえい航されて小樽市小樽港に入港した。 本船は、小樽港到着後、バッテリーを点検した結果、バッテリー端子部が錆びていたことが判明し、錆を落としたところ、主機が始動できるようになった。
分析	本船は、祝津漁港北東方沖で漂流中、バッテリー端子部の発錆により接触不良を生じたことから、主機を始動することができなくなり、運航が阻害されたものと考えられる。
原因	本インシデントは、本船が、祝津漁港北東方沖で漂流中、バッテリー端子部の発錆により接触不良を生じたため、主機を始動することができなくなったことにより発生したものと考えられる。
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・発航前にバッテリー端子部等を点検すること。